

平成28年度都路中学校生徒の「田村っ子のルール10」の定着状況調査一覧表

	学年	1年	2年	3年	全体	昨年度と比較	昨年度全体
ルール1	あいさつをしよう	95.5	100.0	96.0	96.8	-3.2	100.0
ルール2	はっきりとした声で返事をしよう	86.4	87.5	84.0	85.7	-4.3	90.0
ルール3	「ありがとう」と言おう	100.0	93.8	96.0	96.8	+0.8	96.0
ルール4	素直にあやまろう	95.5	93.8	96.0	95.2	-0.8	96.0
ルール5	きちんとかたづけよう	86.4	100.0	88.0	90.5	-3.5	94.0
ルール6	うそはつかない	81.8	100.0	88.0	88.9	-7.1	96.0
ルール7	相手の目を見て話そう	72.7	100.0	96.0	88.9	-5.1	94.0
ルール8	時間を守ろう	90.9	100.0	96.0	95.2	+5.2	90.0
ルール9	相手のいいところを見つけよう	81.8	81.3	96.0	87.3	+7.3	80.0
ルール10	はきものをそろえよう	95.5	100.0	100.0	98.4	+0.4	98.0
定着率80%以上の項目数		9	10	10	10	±0	10

※定着率:「よくできる」「だいたできる」と回答した生徒の割合

教職員の評価とアンケート結果を比較した考察	<p>生徒の自己評価は、ほとんど定着率80%以上で、おおむね良好である。昨年度と比較し、上下の差が少なくなっている。</p> <p>「ルール10」の「はきものをそろえよう」の定着率が98.4%であり、最も高い。日頃から昇降口のシューズやトイレのスリッパなどきちんとそろえられている。</p> <p>、「ルール1」の「あいさつをしよう」について、生徒の定着率は96.8%と高い。しかし、教職員による評価では、いつでもどこでも元気よくできていない状態である。現状を理解させ、時と場に応じたあいさつができるようにしていかなければならない。</p>
昨年度調査における課題の変容と効果のあった対策	<p>昨年度の課題は「ルール9」の「相手のいいところを見つけよう」で定着率が80.0%となっていたが、今回は87.3%となり7.3%向上した。特に3学年では、昨年は84%であったのに対し今回は96%と12%も向上した。</p> <p>効果のあった対策として考えられるのは、毎日の短学活の時間や、部活動などの特別活動や学校行事の場面を中心として、生徒の人間力の向上を目指して指導してきたことである。また、スクールカウンセラーが相手のいいところを考えさせる授業を行ってきたことが向上につながったものと考えられる。</p>
課題と対策	<p>最も低かったのが、「ルール2」の「はっきりとした声で返事をしよう」で、85.7%の定着率となった。</p> <p>相手に自分の考えや意志を明確に伝える指導を、毎日の教育活動や学校行事、部活動の機会を捉えて継続して行っていく。また、安心して自己表現ができる好ましい人間関係づくりの構築も行っていく。</p>